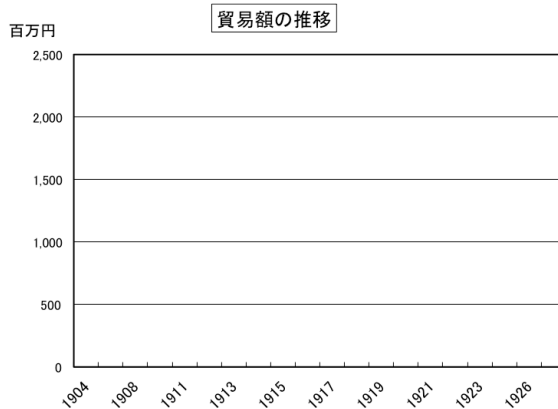


**大戦景気**

欧州での大戦  
 ①<sub>1</sub> 交戦国の需要  
 ②<sub>2</sub> アジア市場進出  
 ③<sub>3</sub> 欧州からの輸入減  
 ⇒ 空前の好景気…<sub>4</sub> **大戦景気**

貿易 輸出拡大…1919年は1914年の<sub>5</sub> **4倍**  
 ⑥<sub>6</sub> **入超 から出超** (1915~18)  
 ⑦<sub>7</sub> **債務** 国から ⑧<sub>8</sub> **債権** 国へ  
 (1914年11億) (1920年27億)



※<sub>9</sub> 各国は大戦中に金本位制停止 = 金輸出を禁止 <sub>10</sub> 日本も1917年に停止

海運・造船 世界的船舶不足→空前の好況→<sub>11</sub> 世界第3位の海運国

<sub>12</sub> **成金** (<sub>13</sub> 船成金) の続出 <例> <sub>14</sub> 鈴木商店、内田信也 勝田銀次郎、山下亀三郎ら

鉄鋼 <sub>15</sub> 鞍山製鉄所設立(1919)、八幡製鉄所拡張など

…中国東北地方 満鉄が操業 (←鞍山採掘権 ←二十一か条要求)

軽工業 <sub>16</sub> 生糸→アメリカへ <sub>17</sub> 綿糸→アジア(特に中国)へ

☆<sub>18</sub> **在華紡** = 日本の紡績資本が中国へ進出 中国の民族資本家を圧倒

化学 <sub>19</sub> ドイツからの輸入が途絶 →<sub>20</sub> 国産が発達 <例> 染料、薬品、肥料

電力 水力発電の発達…<sub>21</sub> **電力が蒸気力を上回る(1917年)**

<sub>22</sub> 猪苗代水力発電所から東京へ送電(1915完成) 東京電灯会社など

**結果** ①<sub>23</sub> 工業生産の躍進…1914年からの5年間で<sub>24</sub> 生産高は5倍 京浜・阪神などに工業地帯

- <sub>25</sub> **工業生産額が農業生産額を上回る(1918年)**
- <sub>26</sub> 重化学工業が工業生産の30%を占める
- <sub>27</sub> **工場労働者数は100万人を超える** <sub>28</sub> 男子は2倍に(1914~1919)

- ② 都市の人口集中、商業・サービス業の発展
- ③ 資本の独占、集中傾向。中小企業との格差
- ④ 農業の発展は停滞的 → 寄生地主制の発展 <例> 千町歩地主

**作業** 下のデータをグラフにして(右上)確認しよう

貿易額の推移

(単位100万円)

年次	1904	1908	1912	1914	1916	1918	1920	1922	1924	1928
輸出	319	378	527	591	1,127	1,962	1,948	1,637	1,807	1,972
輸入	371	436	619	596	756	1,668	2,336	1,890	2,453	2,196

## 政党内閣の成立

<sup>29</sup>諸物価(特に米価)の高騰→庶民の生活難

{ 需要の増大…都市人口・労働者人口(非農業人口)の急増 ←資本主義の発達  
供給の不足…<sup>30</sup>地主・大商人の買い占め・売り惜しみ ←シベリア出兵の軍需も予想

<sup>31</sup>寺内正毅内閣 1916.10~18.9 超然内閣

1918年夏、<sup>32</sup>富山県魚津町などで騒動(“越中<sup>33</sup>女房一揆”)

→<sup>34</sup>米騒動…70万人以上 米商人や地主を襲撃 →軍隊でようやく鎮圧 →内閣総辞職

<sup>35</sup>原敬内閣 1918.9~21.10 “<sup>36</sup>平民宰相”…華族でも藩閥でもない衆議院議員 『原敬日記』

<sup>37</sup>初の本格的政党内閣…<sup>38</sup>陸相・海相・外相以外はすべて政党(立憲政友会)員

(a) <sup>39</sup>積極財政…公共事業や教育福祉を拡大 財政支出が必要

<例><sup>40</sup>鉄道網の拡張…<sup>41</sup>鉄道院を鉄道省へ格上げ(1920)

海軍の軍備拡張…「<sup>42</sup>八八艦隊(戦艦8 巡洋艦8の建造)」の推進

高等教育拡充…<sup>43</sup>大学令(公立・私立大学の認可)、<sup>44</sup>高等学校令

(d) <sup>45</sup>選挙法改正(1919)…<sup>46</sup>納税資格を3円に(5.5%)

<sup>47</sup>小選挙区制の採用(大政党有利)

(c) 社会主義運動や普通選挙運動には否定的

野党の普通選挙案 →拒否、解散総選挙 →政友会の圧勝 ←

(d) その他 <sup>48</sup>パリ講和会議(1919)、三・一運動(1919)、<sup>49</sup>国際連盟加盟(1920)

恐慌(1920)、東京市疑獄(汚職)事件など

→1921. 暗殺(東京駅)

<sup>50</sup>高橋是清内閣 1921.11~22.6 <sup>51</sup>立憲政友会

…政友会総裁(←原内閣大蔵大臣←日本銀行総裁)

<sup>52</sup>ワシントン会議(1921) (→近代29)

与党 <sup>61</sup>政友会の

党勢拡張

【正誤問題に挑戦】<1998年B追試験、1999年A本試験より>

(1) 海運業では、日露戦争期になると、世界的な船舶不足を見越して巨利をあげた船成金が登場した。

(2) 原敬内閣の選挙法改正により、大選挙区制が小選挙区制になった。